

ハウス・ケニー

JAPN 201

2024年09月12日

お箏について

お箏は日本の伝統楽器です。ギターのような楽器ですが、13弦あります。弾くには指の爪を三つ使います。お箏の上には柱(じ)があって、音を変えます。お箏は8世紀より古いです。古事記は8世紀の本で、お箏について書いてあるから、お箏はとても古いです。7世紀ぐらい、中国から「guzheng」と呼ぶ楽器が日本にきました。その時、弦が5、7本だけありました。その後、中国のguzhengは日本のお箏になりました。

明治期まで、お箏はとても人気がありました。でも、西洋音楽が日本にきた後、人気は落ちました。しかし、コンサートとジャズと時々ポップ歌でお箏を使います。一部の学校だけ教えます。それから、時々、お箏(和楽器)サークルがあります。学校ではあまり教えませんが、お箏の専門学校があります。例えば、沢井(さわい)箏アカデミーはハワイとシドニーと日本に、学校がたくさんあります。

お箏を弾くのは仕事です。専門学校で学んだ後、プロの音楽家になります。でも、専門学校で学ぶ時間はとても長いです。10から20年ぐらい学んだ音楽家もいます。人気があるお箏の音楽家で、宮城道雄(みやぎ・みちお)と沢井忠夫(さわい・ただお)はむかし人気がありました。おばた・れいこと八木美知依(やぎ・みちよ)が人気があります。今、プロのお箏音楽家はコンサートで弾いて、ジャズとポップ音楽を弾きます。

お箏の音が好きで、13弦の楽器はおもしろそうだから、お箏について話すことを選びました。歴史と文化はおもしろいです。お箏は伝統の日本でとても大切でした。それから、今のプロが作った音楽は違って、とても楽しいと思います。いつかお箏を弾いてみたいと思います。

次はお箏についてのビデオです。このビデオは英語でプロのお箏の音楽家きむら・ときことインタビューです。お箏を説明して、弾きます。4から5分だけ見ます。

<https://youtu.be/8lsMPfbbzEg>